

令和7年度使用中学校用教科用図書（「教科名 理科」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
理科	啓林館	○基礎・基本の定着に関わって 観察、実験から導き出された考察及び結論までの探究の過程が系統立てて示されており、見通しをもって観察、実験を捉えられるよう、また読んで理解できるような構成となっている。また、各章末や単元末には、学習した基礎的・基本的な問題から発展的、応用的な問題が設定されているなど、充実した構成、内容となっており、高校への接続を意識した学習も可能となっている。 ○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 生徒による観察、実験では、探究の過程を意識した構成がみられたり、レポート作成の事例が紹介されていたりと、生徒の主体的な学びを促す工夫がみられる。また、「お仕事ラボ」では学習内容と職業との関連が紹介されており、暮らしの中に理科の学びが活かされていることが認識でき、将来に向けた勤労観・職業観が育まれるよう配慮されている。 ○内容の構成・配列に関わって SDGsに関連した題材や環境に配慮した観察、実験、さまざまな単元に掲載された科学コラム「防災減災ラボ」、さらに2025年の万博に関連する内容やウェルビーイングの一環としてワンヘルスの考えが紹介されるなど、現代的な課題の扱いが充実しており、学術的にも学際的にも理科を学ぶ目的や意義が見いだせる構成、内容となっている。 ○内容の表現・表記に関わって 探究の過程を踏まえて、生徒キャラクターの発言などをヒントに、生徒が自分なりに考えながら探究することができるように構成、工夫されている。 ○言語活動の充実に関わって 「探Qシート」を活用して話し合ったり、「それってホント？」で他の人の意見や考察が本当に正しいのかを考えたりするなど、言語活動を通して、表現力が豊かになるよう配慮されている。 ○本校の研究に関わって 全学年に継続的な観察、観測が設定されており、それを粘り強く行う姿勢を育てる配慮がなされている。また、「発表してみよう」などにおいて、発表スライド・ポスターのひな型があり、話し合いやグループ活動などの協働学習に役立てることができる。